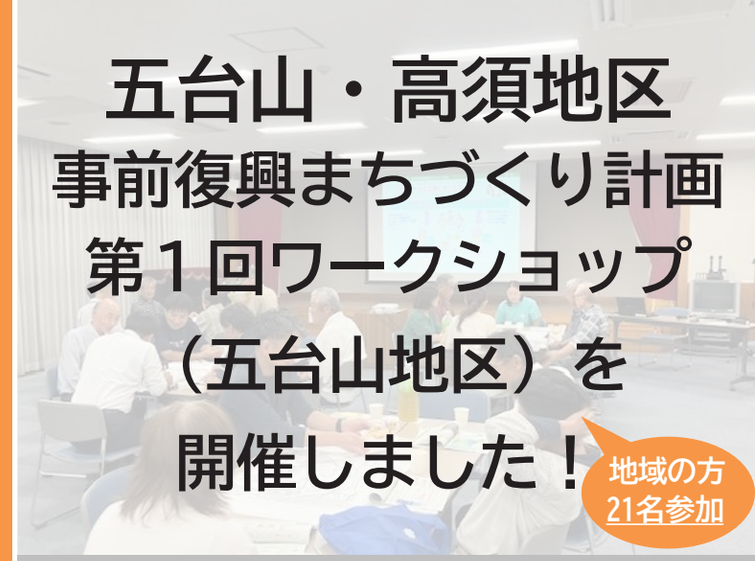
高知市 事前復興まちづくりニュース VOL.1

R８.10.13



五台山・高須地区 事前復興まちづくり計画 第１回ワークショップ（五台山地区）を開催しました！

地域の方 21名参加

ワーク１は２ページ、ワーク２は３ページ、
ワーク３は４ページに表示しております

８月６日（木）、五台山ふれあいセンターにて、五台山・高須地区事前復興まちづくり計画第１回ワークショップ（五台山地区）を開催しました。ワーク１では**「五台山地区の良いところ・残したいもの、困っていること」**、ワーク２では**「復興パターンについて」**、ワーク３では**「五台山地区で住み続けたくなるような楽しい未来の姿」**について、みんなで話し合いました。

※掲載スペースの関係により、すべての意見を載せてはおりません。ご了承ください。

●ワークショップの内容（予定）

第１回 令和8年8月6日 開催

- 五台山地区の良いところ・残したいもの、普段の生活で困っていることについて
- 復興パターン２案について
- 楽しくなるような未来のまちについて

第２回 令和8年11月頃 開催予定

- 目指すべき姿（案）について
- 修正復興パターンについて
- 速やかに復興するために必要なことについて



第３回 令和9年2月頃 開催予定

- 修正復興パターン（最終案）について
- 災害が起きる前からできることについて

事前復興まちづくり計画とは？

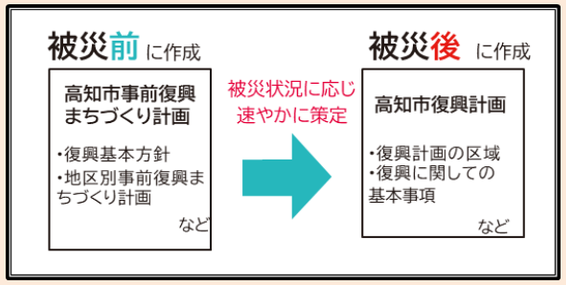
南海トラフ地震を想定し、被災前に復興まちづくりの目標や課題解決のための方策をとりまとめたものです。市で作った計画案を基に、地域の皆さんと一緒に作っていきます。

計画策定の効果

①早期の復旧・復興事業の着手により、街の復興を早める

②適切な基盤整備の規模で被災地を復興できる

③人口流出の抑制につながる



ワーク３ 五台山地区の楽しくなるような未来のまちについて

今のまちを残したい
- 歴史施設を残したい
- 農業が今と同じように営めるようにしたい

交通の利便性を上げたい
- 公共交通機関を充実させたい（バスの便数等）
- 五台山の道路を広げる（展望台までの道（一方通行）の改善）

災害に強いまちを作りたい
- 独居老人でも生活しやすいように、インフラを整備をしてほしい（狭い道の改善、公共交通機関の充実）
- 農業の継続と地震対策を並行して行いたい



地域コミュニティを強めたい
- マンションを建てて子供が増えるような移住政策等に取組む
- 小・中学校は必要である
- 地域みんなで和気あいあいと暮らせるまちにしたい
- 今のコミュニティをより強固にすることで、次世代のコミュニティ形成にもつなげていきたい

にぎわいのあるまちにしたい
- 買い物難民にならないように店がほしい
- 移住者を誘致したい
- 区画整理と共に、復興時の空き地はお店が出せるようにしたい

■お知らせ

（回答はこちらから⇒）

ホームページ上に掲載した「意見投稿プラットフォーム」でも意見を募集していますので、気軽にご回答ください。

■お問い合わせ先

高知市　防災政策課　事前復興まちづくり担当
TEL：088-823-9055
FAX：088-823-9085
Mail：kc-080200@city.kochi.lg.jp

ワーク１　五台山地区の良いところ・残したいもの、困っていることについて

●暮らし



困っていること

・買い物をするところがない
・子供の雨天時等遊び場が充実されていない
・山に竹林が広がっており、日当たりが悪い

●公共交通



困っていること

・高知市中心部に近いのに交通の便が悪い
・車がないと生活できない
・バスの便も少なく、電車が遠い

●産業

良いところ・残したいもの



・田畑が広がっている
・中央市場が近い
・農地を残したい
・小学生が自然体験学習(稲作)を30年近く行っている

困っていること

・農業者における後継者不足が問題となっている
・耕作放棄地が多く管理者もいないため、草刈りもできず、野生動物の住み家となっている

●道路



良いところ・残したいもの

・高知南ICが近いため移動が便利である

困っていること

・山際では、消防車が入れない路地が残っている
・遍路道で道が狭くなっているところがある
・道が狭いため、観光客の車が住宅地に入り込むと、出れなくなることがある

●地域

良いところ・残したいもの

・武市半平太、浜口雄幸の生家がある
・自然(山、川、海)がたくさんあり、静かである
・史跡が多い
・夜景がキレイである
・現在は、インバウンドも増え、お遍路も世界遺産に名前が上がっている
・五台山公園、竹林寺、牧野植物園、護国神社がある
・夏祭りがある
・民生委員、青少年育成協議会、校区交通安全会議等と小学生との連携がよくできている
・昔から住んでいる地域であるため、繋がりは強い
・現状の地域コミュニティは残したい
・五台山ミニ八十八ヶ所がある

困っていること

・少子高齢化で世帯数が減少している
・スマホのマップを頼りにお遍路さんが私有地に入ったりしている
・野良犬、猫多い



●公共施設



良いところ・残したいもの

・消防、警察、小学校、保育園が並んでいる
・保育園、小学校、中学校を残したい

●災害



困っていること

・渓流がすぐそばにあるため土石流が危険である
・イノブタ・ハクビシンなどの野生動物の増加により被害が多くなっている
・空き家が増えており火事が心配である

ワーク２　復興パターンについて

【第1案】二線堤形成＋移転対応案

●●●(B)　二線堤

【高須地区】

(A)　土地区画整理事業(嵩上げ)
道路基盤整備検討

【五台山地区】

(C)　甚大被害家屋の移転

(D)　差込み移転候補地

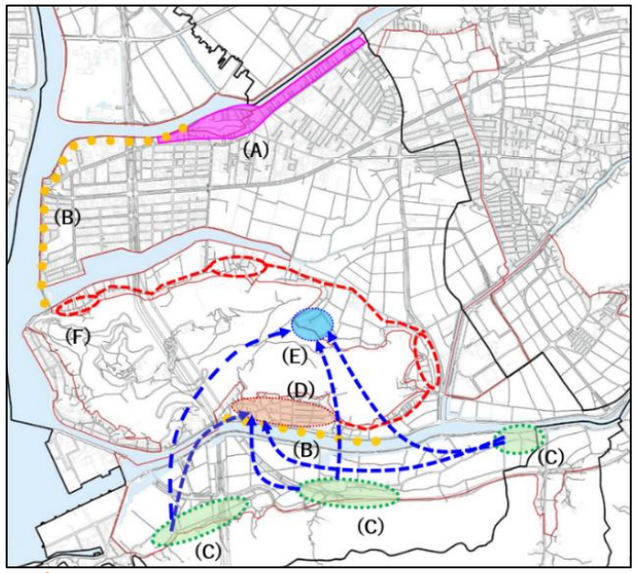
(E)　集団移転候補地
(県立牧野植物園長江圃場活用の検討)

(F)　道路基盤の整備
安全な避難ルートを確保するため狭隘な生活道路の拡幅の検討

いいね！

・二線堤を整備することで内陸は街並みが変わらないので1案が良い

●国分川沿道・下田川沿道に二線堤を整備し、内陸の津波浸水を防ぐ案。また、五台山地区の被害が大きい地域については、安全な場所へ移転をする案。



共通

・道路拡幅は沿道の家屋の影響があるためむずかしいのではないか
・坂本地区の南側エリアも復興パターンが必要ではないか
・移転よりは住み慣れた場所をより強固にして再建したい

【第2案】現地復興＋移転対応案

【高須地区】

(A)　防災拠点(高須公園)
(B)　防災拠点(高須南ノ丸公園)
(C)　防災拠点(高須北の丸公園)

(D)　土地区画整理事業(嵩上げ)
道路基盤整備検討

【五台山地区】

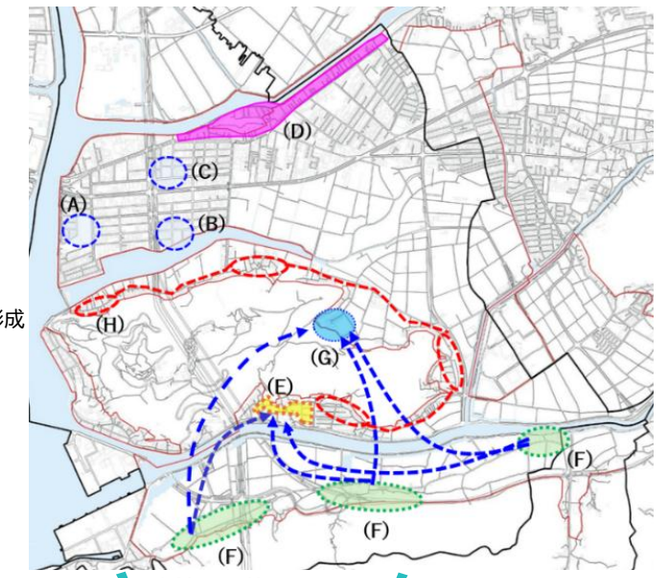
(E)　土地区画整理事業
道路基盤整備検討及び防災拠点となる街区を形成
移転宅地や集合住宅等の検討

(F)　甚大被害家屋の移転

(G)　集団移転候補地
(県立牧野植物園長江圃場活用の検討)

(F)　道路基盤の整備
安全な避難ルートを確保するため狭隘な生活道路の拡幅の検討

●高須地区内に防災拠点を形成することで、津波避難を向上させる案。また、五台山地区の下田川北側の集落で土地区画整理を行い、地域の集約化(移転元の地域を含め)を図る案。



移転について

・長江圃場の移転は課題がある
(道が狭い、交通の便が悪い、日当たりが悪い、地区内が良い)
・移転元を嵩上げする案もあるのではないか
・大畑山を市街地にしてはどうか
・できるだけ高いところへ移転したい
・移転元は地盤が強いため、居住している人や、農地を持っている人も多いため、移転は難しいのではないか
・農地(下田川南側)を転用して市街地にしたらどうか

土地区画整理について

・鳴谷、新田地区の道が狭い等、全ての課題が解消されるのであれば2案がいい
・土地区画整理の範囲地は何世代にも渡って住み続けているため、立ち退きは難しいのではないか

その他

・移転では家屋以外の土地がどうなるのか
・土地区画整理がイメージできない。整備後のイメージ図があれば、比較ができるのではないか
・事業期間7～8年は長い